



竹木場小学校
第四中学校
平成22年度 4月号
文責 小教頭 池田



校長先生の挨拶

夢を語って、夢を形に

校長 中島 裕二

昨今の子どもたちを取り巻く状況には、たいへん厳しいものがあります。ニート・フリーターの問題、中途高校退学者の問題、早期離職者の問題、自殺者の問題等です。これらは、将来の展望が拓けないことから生じる問題です。わたしたちは、小学校中学校の9年間を通して、子どもたちが夢や希望を持ち、大志を持って自分の道を自分で切り拓ける児童・生徒の育成をめざしたいと考えています。そこで、「夢を語って、夢を形に」を学校のスローガンに決めました。教師と生徒が、生徒同士が、教師同士が夢や希望、理想などを語り合うことで、夢への実現への意欲は高まるはずで、夢や希望があれば、目標が生まれます。目標があるから、地道な努力も可能になります。

さて、入学式での式辞の一部を紹介します。・・・(略)・・・大きな夢をもって欲しいということです。皆さんはそれぞれ素晴らしい個性と能力をもっています。その能力や個性を活かして夢を実現してください。夢というのは夢で終わらせるのではなく、実現させるためにあるのです。夢が離れていくではありません。人が夢を実現する努力をやめたとき、夢が離れていくのです。あのディズニーランドをつくったウォルト・ディズニーが“ If you can dream it , you can do it . ” (それを夢見ることができるならば、あなたは、それを実現することができる。) といっています。人は夢があれば、頑張ります。毎日が楽しいです。ノーベル賞受賞者やスポーツ選手など、その道の一流と呼ばれる人たちは、小中学生の時期にその夢と出合っています。皆さんも自分の夢が実現できるよう頑張ってください。・・・(略)・・・

とかく現代は夢や希望のもちにくい時代といわれています。その時代背景も鑑み、児童・生徒に夢をもった生き方をさせることが、学校のいろいろな活動にチャレンジングに取り組む原動力となります。目的意識をもった学校生活の中で、成功体験や失敗体験が、生きて働く経験となり、21世紀をたくましく生き抜く力の素地を培うと確信しています。

最後に、学校の教育目標を以下のように決めました。本校職員一丸となって学校の教育目標達成に向かって努力をしてまいります。

学校教育目標

- (1) 生きて働く学力を身につけた児童・生徒の育成
- (2) 思いやりの心を持ち、態度や行動で表せる児童・生徒の育成
- (3) 命の尊さがわかり、進んで健康や体力づくりに努める児童・生徒の育成



入学式 学校風景



小学校



中学校

4月8日に平成22年度竹木場小・第四中学校の入学式がありました。今年度は、小学校が男子1名女子1名の2名、中学校は男子ばかりの8名が新しく入学してきました。

新たな仲間を迎え、全校児童・生徒67名で船出します。たくさんの経験をとおして、学力・思いやりの心・体力を身につけてほしいと思います。地域の皆様、今年度もよろしくお願いいたします。

登校・ボランティア風景

真新しい制服に身を包んだ中学1年生の登校風景です。はずかしそうに照れながらの様子でしたが、「やる気」は、みなぎっていました。



中学校生徒会の登校道路清掃ボランティアが行われています。朝の挨拶運動も兼ねた活動です。とても、さわやかな朝の風景です。



5月行事 家庭訪問・修学旅行(小中)・健康診断・中間テスト・実力テスト

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	育友校 会(育) 校(育) 学校(育) 学(育) 校 学(育)	
曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
学校行事・育友会行事			憲法記念日	みどりの日	こどもの日		献立委員会			家庭訪問	家庭訪問		初まき()	()					学行()		学						学行()	学行()					